

Engineering エンジニアリング



グループ経営資源の効率的活用と、グループ企業間協働により、利益の最大化と安定的なリターン獲得を目指します。

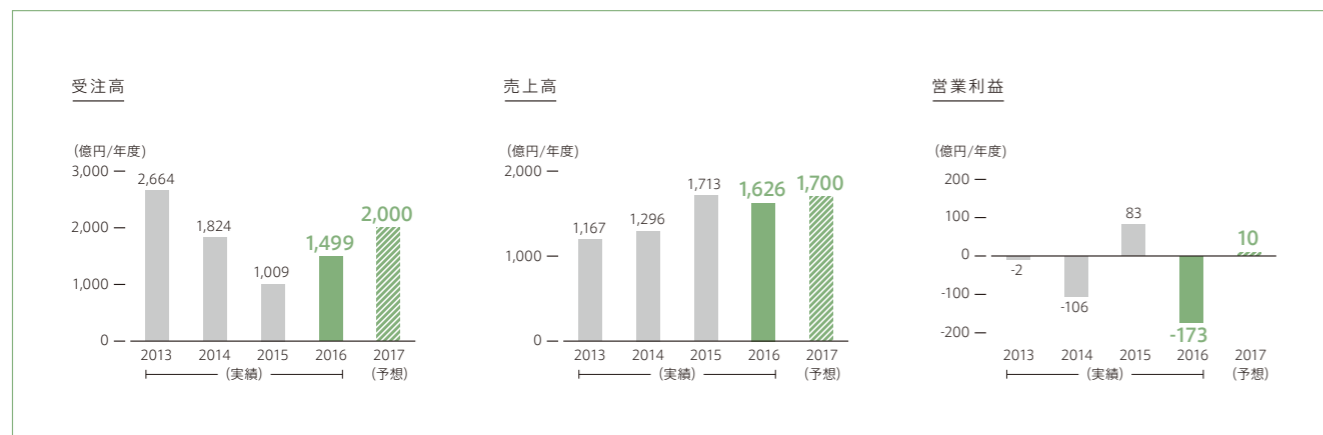
取締役 常務執行役員 / エンジニアリング事業本部長
仁保 信介

事業環境と実績

当社が得意とする化学プラント分野については、原油価格の低迷などで産油・産ガス国や大手石油会社の設備投資計画が見直されるなど、慎重な姿勢が継続していますが、低迷していた原油価格も緩やかに回復、安定化しつつあり、顧客の投資意欲には改善の兆しが見えます。一方、インフラ分野では、東南アジア全域で慢性的な電力不足は解消されておらず、インドネシアやベトナムでは、延伸していた石炭火力発電所建設計画が漸く動き始めました。また、環境エネルギー分野では、国内外において再生可能エネルギーによる発電所などの設備投資が続いており、今後も、着実な進展が期待されます。

このような状況のもと、受注高は、石油化学分野での設備投資計画の遅延の影響などがありましたが、海外インフラ分野でインドネシア向け石炭火力土木工事や環境エネルギー分野で1件の風力発電所建設工事を受注したことなどにより、前連結会計年度に

比べて489億70百万円増加(+48.5%)の1,498億93百万円となりました。売上高は、シンガポール向けの石油化学プラント建設工事、ベトナム向けおよびインドネシア向けの発電土木工事が順調に進捗し、また、風力発電所建設工事の完工などで、前連結会計年度と比べ86億72百万円減少(△5.1%)の1,625億98百万円となりました。営業利益は、連結子会社で建設中のプラント工事の採算悪化により、前連結会計年度の82億97百万円の利益から173億33百万円の損失となりました。



Our Action 中期経営計画に基づく『変革』への取り組み

Topics トルクメニスタン向け化学プラントを引き渡し

●硫酸プラント69件目の実績

当社は、2016年6月にトルクメニスタン国営化学公社トルクメンヒミヤ向けに、当社の硫酸プラントとしては69件目となる硫酸生産設備(年産50万トン)を完成・引き渡しました。本プロジェクトは、トルコのルネッサンス社とのコンソーシアムにより2013年9月に受注したもので、当社として初めてのトルクメニスタン向けの化学プラントの納入になります。本プロジェクトは、世界第4位の天然ガス埋蔵量を誇る同国が、天然ガスの輸出に依存する経済からの転換を目指す中に行われたもので、本プラントの完成により、天然ガス資源利用の高付加価値化が進み、同国の産業の育成・発展に貢献することが期待されています。当社は、硫酸をはじめとする無機化学品分野に多くの実績を有しており、今後も積極的な事業活動を展開していきます。



トルクメニスタン向け硫酸プラント

Topics 英国のエンジニアリング会社を買収

●英国のエンジニアリング会社SIMON CARVES Engineering Ltd.を買収

米国にある当社のプラントエンジニアリング子会社であるEngineers and Constructors International, Inc. (ECI) は英国のエンジニアリング会社Simon Carves Engineering Ltd. (SCEL) を子会社化しました。SCELは、100年以上にわたり英国をはじめ全世界に各種プラントの設計・エンジニアリングサービスを提供してきた伝統ある会社です。今回の買収で、当社グループとして新設プラントの事業計画からEPC(設計、調達、建設)、試運転、更には、既設プラントの保守、設備改造・増強などプラントライフサイクルを通じた一貫したサービスが可能となります。また、化学プラント分野において、欧州に新たな拠点を果たすことで、今後、より幅広い地域での事業展開を図っていきます。



SIMON CARVES Engineering Ltd.

Topics BWSCが英国で9件目となるバイオマス発電プラントを受注

●バイオマス熱電併給設備による売電事業への投資を決定

当社のデンマーク子会社のBurmeister & Wain Scandinavian Contractor A/S (BWSC) が、英国において9件目となる大型バイオマス発電所建設工事および運転・保守業務を受注しました。本設備は、木質燃料炊きのバイオマス熱電併給発電プラントで、発電能力は27.8メガワットとなります。BWSCはプラントのエンジニアリング、機器調達、据付・建設、試運転までを一括で請け負い、20年間(オプション契約5年間を含む)の運転・保守業務を行います。



バイオマス発電プラント完成予想図